

令和元年度下水道事業決算状況

① 下水道事業特別会計

那珂市の下水道事業の全体計画は、面積3,257.8ha、人口41,800人で、その内、面積1,710.6ha、人口31,500人で事業認可を取得し事業を進めています。認可区域内の供用開始面積は1,386.4ha、供用開始人口は29,538人で、行政人口54,523人に対して供用開始率は54.18%となっています。また、供用開始区域内における接続済人口は26,516人で、供用開始人口に対し89.77%となっています。今後も市民の生活環境を改善し、市内の河川などの水質を保全していくために、汚水処理に要する経費と効果を勘案したうえで、未計画地区を含めた今後の整備の方向性について検討を進めております。

なお、下水道事業特別会計は令和2年度から地方公営企業法を適用したため、令和元年度会計は3月31日に打切り決算となっています。このため、前年比に大幅な増減がある費目があります。

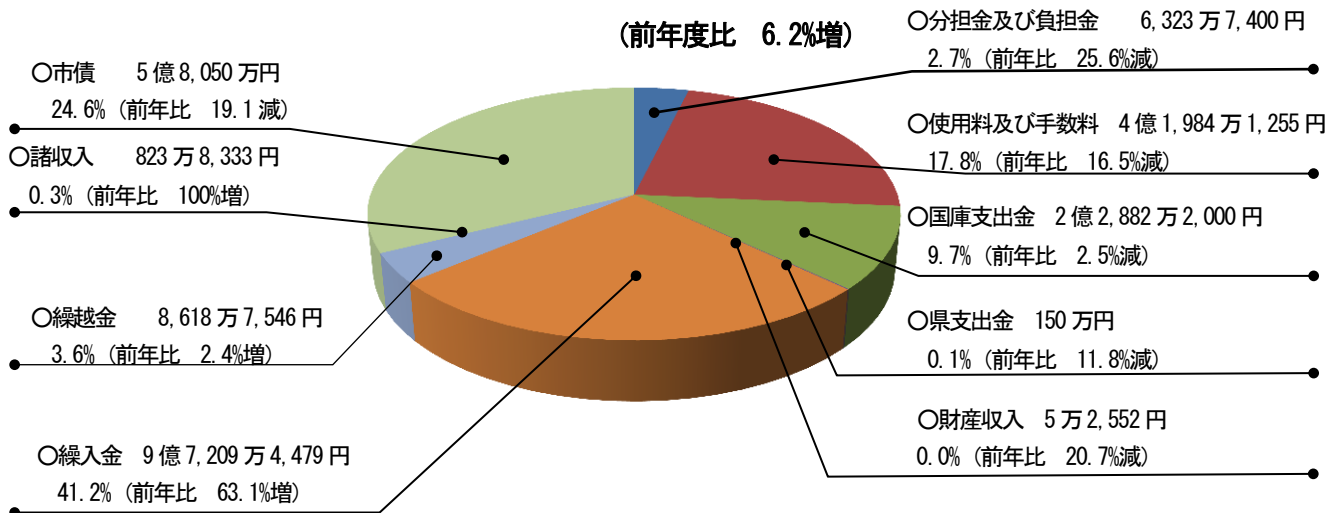
◆歳入 23億6,047万3,565円 (単位：円)

費目	令和元年度	割合	平成30年度	増減
分担金及び負担金	63,237,400	2.7%	84,958,100	△25.6%
使用料及び手数料	419,841,255	17.8%	502,557,766	△16.5%
国庫支出金	228,822,000	9.7%	234,700,000	△2.5%
県支出金	1,500,000	0.1%	1,700,000	△11.8%
財産収入	52,552	0.0%	66,304	△20.7%
繰入金	972,094,479	41.2%	595,841,000	63.1%
繰越金	86,187,546	3.6%	84,201,185	2.4%
諸収入	8,238,333	0.3%	0	皆増
市債	580,500,000	24.6%	717,900,000	△19.1%
合計	2,360,473,565	100.0%	2,221,924,355	6.2%

歳入内訳は、下水道事業の収入源である負担金、使用料及び手数料収入の割合が17.8%である一方で、適正な使用料を徴収してもなお不足する経費等に充てるための一般会計繰入金等の繰入金が41.2%、将来の償還が必要な建設費用等に充てる市債が24.6%を占めています。

【歳入】23億6,047万3,565円

(前年度比 6.2%増)



- 分担金及び負担金 … 公共下水道の受益を受ける方から受益面積に応じて負担金を頂いています
- 使用料及び手数料 … 下水道使用者から汚水の処理に係る費用を汚水の排出量により定めた料金を頂いています
- 国庫支出金 … 国補助対象事業費の50%が補助金として国より支出されています
- 県支出金 … 市単独事業費に対して、市の財政状況による割合で県より支出されています
- 財産収入 … 下水道基金積立金の利子等です
- 繰入金 … 適正な使用料としても不足する経費等に対する一般会計繰入金のほか、基金からの繰入金です
- 繰越金 … 前年度の収支差による繰越金です
- 諸収入 … 消費税還付金等です
- 市債 … 市で支出する事業費の一部を借入れしています

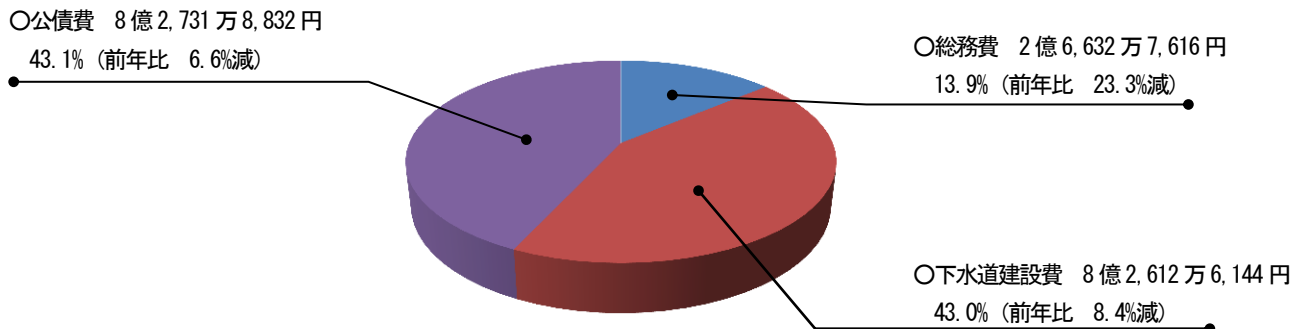
◆歳出 19億1,977万2,592円 (単位：円)

費目	令和元年度	割合	平成30年度	増減
総務費	266,327,616	13.9%	347,360,718	△23.3%
下水道建設費	826,126,144	43.0%	902,135,181	△8.4%
災害復旧費	0	0.0%	0	-
公債費	827,318,832	43.1%	886,240,910	△6.6%
予備費	0	0.0%	0	-
合計	1,919,772,592	100.0%	2,135,736,809	△10.1%

歳出内訳は、下水道施設維持管理費等の下水道総務費が13.9%である一方で、下水道施設の新設に要する工事費等の下水道建設費が43.0%、建設費用のために借入れた市債を償還するための公債費が43.1%を占めています。

【歳出】19億1,977万2,592円

(前年度比 10.1%減)



- 総務費 … 職員人件費、事務費、下水道施設維持管理費等に要する費用です
- 下水道建設費 … 下水道施設の新設に要する委託費、工事費等です
- 災害復旧費 … 災害により被災した下水道施設の復旧に要する委託費、工事費等です
- 公債費 … 建設費用のために借り入れた市債の償還に要する費用です
- 予備費 … 不測の事態に対応するために要する費用です

●過去5年間の事業費の推移

◆歳入

(単位：円)

費目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
分担金及び負担金	96,950,430	70,541,150	77,098,650	84,958,100	63,237,400
使用料及び手数料	477,085,013	484,790,351	492,392,588	502,557,766	419,841,255
国庫支出金	194,540,000	201,410,000	157,050,000	234,700,000	228,822,000
県支出金	1,300,000	1,000,000	1,400,000	1,700,000	1,500,000
財産収入	63,306	75,775	29,816	66,304	52,552
繰入金	977,160,000	505,101,000	567,182,000	595,841,000	972,094,479
繰越金	97,359,082	74,368,059	68,453,678	84,201,185	86,187,546
諸収入	2,672,828	0	11,362,570	0	8,238,333
市債	632,300,000	714,800,000	625,400,000	717,900,000	580,500,000
合計	2,479,430,659	2,052,086,335	2,000,369,302	2,221,924,355	2,360,473,565

◆歳出

歳出	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総務費	314,743,286	293,685,624	329,662,795	347,360,718	266,327,616
下水道建設費	689,945,001	798,301,067	666,469,715	902,135,181	826,126,144
災害復旧費	498,055,450	-	-	0	0
公債費	902,318,863	891,645,966	920,035,607	886,240,910	827,318,832
予備費	0	0	0	0	0
合計	2,405,062,600	1,983,632,657	1,916,168,117	2,135,736,809	1,919,772,592

②農業集落排水整備事業特別会計

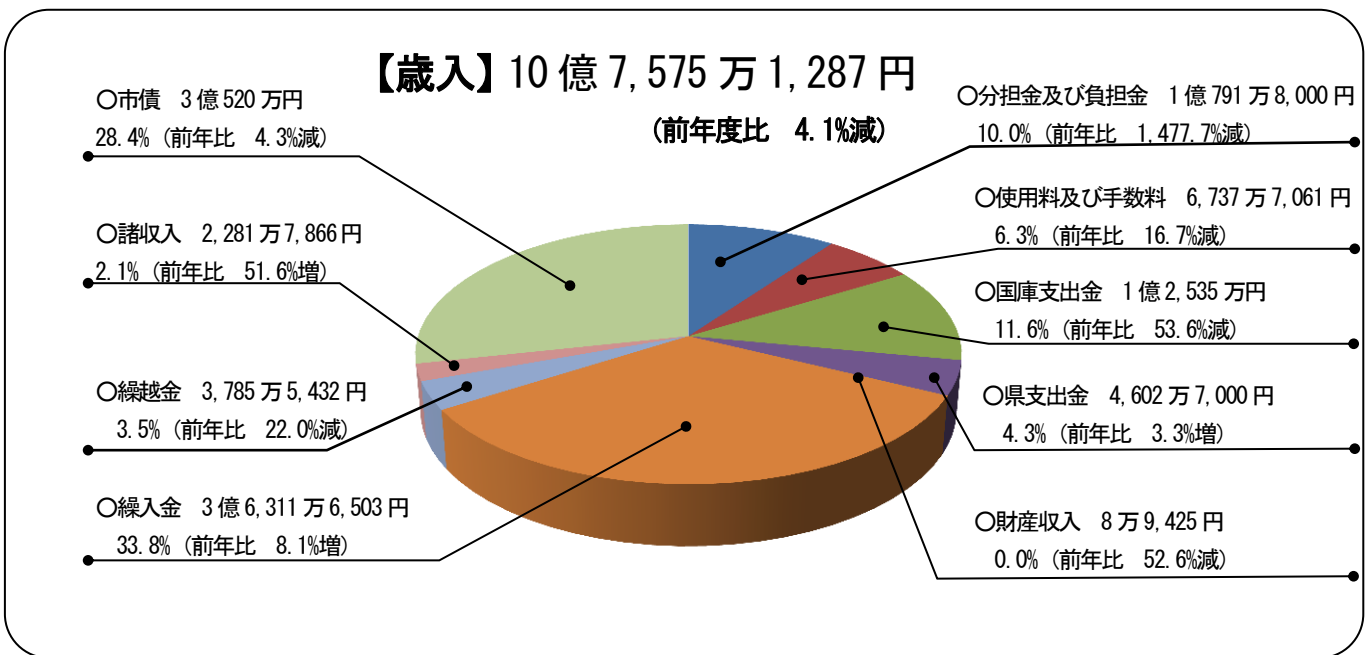
那珂市の農業集落排水事業は、戸崎、西木倉、門部、神崎額田、戸多北部、鴻巣、酒出地区の7地区を計画地区とし、令和2年4月1日に供用開始予定の酒出地区を除く6地区で供用開始しています。6地区全体の計画人口は、9,222人で、供用開始人口は、6,740人になり、行政人口54,523人に対し供用開始率は12.36%となっています。供用開始区域内における接続済人口は5,736人で、供用開始人口に対し85.10%となっています。

なお、農業集落排水整備事業特別会計は令和2年度から地方公営企業法を適用したため、令和元年度会計は3月31日に打ち切り決算となっています。このため、前年比に大幅な増減がある費目があります。

◆歳入 10億7,575万1,287円 (単位：円)

費目	令和元年度	割合	平成30年度	増減
分担金及び負担金	107,918,000	10.0%	6,840,319	1,477.7%
使用料及び手数料	67,377,061	6.3%	80,889,269	△16.7%
国庫支出金	125,350,000	11.6%	270,325,000	△53.6%
県支出金	46,027,000	4.3%	44,574,000	3.3%
財産収入	89,425	0.0%	188,777	△52.6%
繰入金	363,116,503	33.8%	336,052,000	8.1%
繰越金	37,855,432	3.5%	48,522,300	△22.0%
諸収入	22,817,866	2.1%	15,049,267	51.6%
市債	305,200,000	28.4%	318,900,000	△4.3%
合計	1,075,751,287	100.0%	1,121,340,932	△4.1%

歳入内訳は、農業集落排水事業の収入源である使用料、分担金収入の割合が10.0%である一方で、適正な使用料を徴収してもなお不足する経費等に充てるための一般会計繰入金等の繰入金が33.8%、将来の償還が必要な建設費用等に充てる市債が28.4%を占めています。



- 分担金及び負担金 … 農業集落排水の受益を受ける方から地区により定めた分担金を頂いています
- 使用料及び手数料 … 農業集落排水使用者から汚水の処理に係る費用を汚水の排出量により定めた料金を頂いています
- 国庫支出金 … 国補助対象事業費の50%が補助金として国より支出されています
- 県支出金 … 国補助対象事業費の10%が県より支出されています
- 財産収入 … 集落排水基金積立金の利子等です
- 繰入金 … 適正な使用料としても不足する経費等に対する一般会計繰入金のほか、基金からの繰入金です
- 繰越金 … 前年度の収支差による繰越金です
- 諸収入 … 消費税還付金等です
- 市債 … 市で支出する事業費の一部を借入れしています

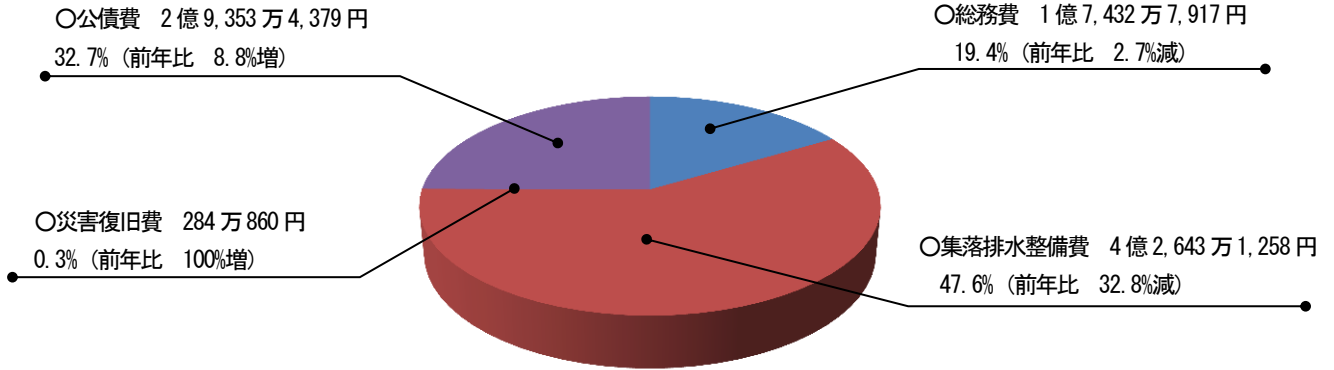
◆歳出 8億9,713万4,414円 (単位：円)

費目	令和元年度	割合	平成30年度	増減
総務費	174,327,917	19.4%	179,132,913	△2.7%
集落排水整備費	426,431,258	47.6%	634,519,040	△32.8%
災害復旧費	2,840,860	0.3%	0	皆増
公債費	293,534,379	32.7%	269,833,547	8.8%
予備費	0	0.0%	0	-
合計	897,134,414	100.0%	1,083,485,500	△17.2%

歳出内訳は、集落排水処理施設維持管理費等の総務費が19.4%を占めているほか、集落排水施設の新設に要する工事費等の集落排水整備費が47.6%、建設費用のために借入れた市債を償還するための公債費が32.7%を占めています。

【歳出】8億9,713万4,414円

(前年度比 17.2%減)



- 総務費 … 職員人件費、事務費、集落排水処理施設維持管理費等に要する費用です
- 集落排水整備費 … 集落排水施設の新設に要する委託費、工事費等です
- 災害復旧費 … 災害により被災した集落排水施設の復旧に要する委託費、工事費等です
- 公債費 … 建設費用のために借り入れた市債の償還に要する費用です
- 予備費 … 不測の事態に対応するために要する費用です

●過去5年間の事業費の推移

(単位：円)

◆歳入

費目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
分担金及び負担金	21,642,000	13,440,000	11,381,385	6,840,319	107,918,000
使用料及び手数料	74,312,272	76,235,440	83,264,298	80,889,269	67,377,061
国庫支出金	150,000,000	96,500,000	289,500,000	270,325,000	125,350,000
県支出金	35,639,000	31,614,000	31,101,000	44,574,000	46,027,000
財産収入	150,176	185,348	186,011	188,777	89,425
繰入金	288,418,000	299,363,000	305,750,000	336,052,000	363,116,503
繰越金	51,064,867	59,399,127	45,657,393	48,522,300	37,855,432
諸収入	12,747,801	6,683,631	529,200	15,049,267	22,817,866
市債	378,500,000	211,100,000	434,900,000	318,900,000	305,200,000
合計	1,012,474,116	794,520,546	1,202,269,287	1,121,340,932	1,075,751,287

◆歳出

費目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総務費	204,090,900	207,357,547	178,274,406	179,132,913	174,327,917
集落排水整備費	509,403,893	297,653,025	711,076,997	634,519,040	426,431,258
災害復旧費	-	-	-	0	2,840,860
公債費	239,580,196	243,852,581	264,395,584	269,833,547	293,534,379
予備費	0	0	0	0	0
合計	953,074,989	748,863,153	1,153,746,987	1,083,485,500	897,134,414